

一般社団法人日本熱帯医学会  
2021年度第1回理事会議事録

開催日時 令和2年10月31日(土) 13:00~15:30

開催場所 オンライン開催(ZOOM)

出席理事: 有吉紅也、大西健児、押谷 仁、金子 明、金子 修、金子 聰、狩野繁之、  
河津信一郎、澤邊京子、中澤 港、橋爪真弘、平林史子、平山謙二、森田公一、  
山本太郎、我妻ゆき子[16名]

出席監事: 小林 潤、濱野真二郎 [2名]

欠席理事: なし

欠席監事: なし

列席者(事務): 福田 緑

(理事・監事 50音順・敬称略)

- ・ 理事会構成員16名全員の理事および監事2名の出席を得て理事会が成立したことを確認し、理事長を議長として議事を進行した。

#### 【報告事項】

##### (1) 2020年度事業報告

- ・ 山本太郎庶務担当理事より、2020年1月から9月までの事業が報告された。

##### (2) 令和2年度庶務・編集報告

- ・ 山本庶務担当理事より、2020年10月18日現在の会員会員数は、733名と報告された。  
(特別会員6名、名誉会員25名、功労会員35名、評議員93名、正会員325名、学生会員148名、在外会員88名、ポスドク会員13名) (団体会員3団体、賛助会員1団体)
- ・ 学生部会(62名)の発足により、学生会員が大幅に増加した。
- ・ 橋爪編集担当理事より、2020年9月30日現在の論文の投稿・掲載状況が報告された。
- ・ I.F.の取得を目指して、引き続き特集号やレビュー論文の掲載に力を入れていきたいとの報告があった。
- ・ 2021年1月から、非会員への掲載料の学会サポートを廃止し、その分のデポジットをレビュー論文の掲載料に充てると報告があった。
- ・ 2021年1月から会員の論文掲載料は、923ユーロから1172ユーロに値上がりするとの報告があった。
- ・ Best Paper Awardに、「Surveillance of Wuchereria bancrofti infection by anti-filarial IgG4 in urine among schoolchildren and molecular xenomonitoring in Sri Lanka: a post mass drug administration study, Hidekazu Takagi, Thishan C.

Yahathugoda, Bumpei Tojo, Upeksha L. Rathnapala, Fumiaki Nagaoka, Mirani V. Weerasooriya & Makoto Itoh. Tropical Medicine and Health 47:39, 2019」が選定されたとの報告があった。

- ・ 日本国際保健医療学会の学会誌「Journal of International Health」の英文の論文について、当学会の学会誌と共同運営していきたいとの提案がなされ、次期理事会・評議員会への申し送り事案となった。

(3) 2020 年度グローバルヘルス合同大会準備状況報告

- ・ 金子明大会長より、2020年度グローバルヘルス合同大会の準備状況について報告された。  
(シンポジウム：22 件、一般公演：37 件、ポスター：165 件、参加登録者数：約 1,200 件)

(4) 2021 年度大会準備報告

- ・ 押谷仁次期大会長より、次期大会についての報告があった。
- ・ 2021 年 11 月 3 日（祝・水）～5 日（金）、オンライン開催を予定。テーマ：The Direction of Global Health in Post COVID-19 World

(5) 各委員会からの報告

- ・ 史資料委員会：門司和彦委員長より、活動の概要と今後の予定について報告があった。
- ・ 男女共同参画委員会：平林史子委員長より、大会での企画シンポジウムについてと、男女共同参画学協会連絡会への参加について報告があった。

(6) 学生会報告

- ・ 学生会（J-Trops）会長の山崎里紗氏（長崎大学 5 年生）より、これまでの活動について報告があった。

(7) 新理事候補者選挙結果

- ・ 山本太郎選挙管理委員長より、下記理事候補者の報告があった。

地方区：（東日本）	石上盛敏
（中日本）	吉川正英
（西日本）	金子修
全国区：（基礎系Ⅰ）	河津信一郎、小林潤、澤邊京子、濱野真二郎
（基礎系Ⅱ）	押谷仁、山城哲、山本太郎
（臨床系）	有吉紅也、中村（内山）ふくみ、吉田レイミント（五十音順）

任期：令和 2 年定時評議員会（令和 2 年 10 月 31 日）終結の時～令和 4 年定時評議員会の終結の時まで

(8) その他

- ・ 河津信一郎理事より、「第 89 回日本寄生虫学会大会」の中止により、日本熱帯医学会/日本感染症学会/日本寄生虫学会の日本医学会連携フォーラムの申請を取り下げたとの報告があった。

【審議事項】

- (9) 2020 年度決算報告および会計監査報告
- ・ 金子修会計担当理事より、2020 年度決算報告が行われ、承認された。
  - ・ 会計監査について、濱野真二郎監事より報告され、承認された。
- (10) 入退会者承認
- ・ 入会者と退会者がすべて承認された。
- (11) 特別会員・名誉会員・功労会員・評議員候補者の承認
- ・ 特別会員に尾身 茂氏（独立行政法人 地域医療機能推進機構（JCHO） 理事長）、Jong-Yil Chai 氏（ソウル大学医学部熱帯医学・寄生虫学教室 名誉教授）。功労会員に、大石和徳氏（富山県衛生研究所 所長）、岩田 敏氏（国立がん研究センター中央病院感染症部長、慶大客員教授）、天野皓昭氏（医療法人湘和会 湘南記念小坪クリニック 在宅診療部 部長）。評議員に、西園 晃氏（大分大学 副学長、医学部微生物学 教授）が推薦され、承認された。
- (12) 2022 年度大会の大会長の承認
- ・ 狩野繁之理事長より、西園晃氏（大分大学副学長、医学部微生物学教授）が提案され、承認された。
  - ・ 2022 年 9 月予定、第 26 回日本渡航医療学会学術大会との共同開催。テーマ：ニューノーマル時代の熱帯医学研究と渡航医療。
- (13) その他
- ・ 狩野理事長より、新理事会への申し送り事項として、現在整っていない国際委員会、男女共同参画委員会、史資料委員会の規約を整備する提案と、男女共同参画担当者および学生部会担当者を担当理事とする提案がされた。
- (14) 閉会
- ・ 以上の議事を終え、15 時 30 分に閉会した。上記の決議を明確にするため、議長、監事がこれに記名押印する。

令和 2 年 10 月 31 日

議 長 狩野 繁之 (印)

監 事 小林 潤 (印)

監 事 濱野 真二郎 (印)